



令和4年度学校だより

7月8日

# 五福校 ごふくこう

No42

文責 本田

## 1学期も残り7日です。いろいろご心配をおかけしております。 感染対策と暑さ対策を両立させてまいります。

1学期も残すところあと1週間と少しになりました。ここに来て全国的に暑い日が続く熱中症とともに、新型コロナウイルスの心配が大きくなっています。状況については先日メールでお知らせしたとおりです。学校の中で友達とお話をするようなときはマスクをつける、外で距離を保って空気が流れる状況で遊ぶときはマスクを外すようにしています。教室は窓を対角線に開けて適切に冷房を入れるようにしています。なんとか子どもたちの学びを止めることなく1学期を乗り切っていけたらと思っています。

ご家庭でもお仕事がお忙しい中ご協力いただいていることに感謝申し上げます。登校不安等ありましたらZOOM等でも対応してまいります。

なお、同居のご家族がかぜ症状や発熱された場合は本人に症状がなくても登校を控えていただきますようお願いいたします。



## 新しい未来に求められる人材とは・・・

1学期は、国（文部科学省）や大学、企業、教育委員会等いろいろなところからの視察、取材がありました。いつも通りの授業を見てもらって学校の取り組みを説明しています。僕や教頭先生もいつも授業を見て回るので子どもたちは慣れていきます。どの訪問でも「子どもたちがよく話をしますね」「授業をとっても楽しそうに受けているのが印象的です」「よく友達の話聞いていますね」と言っています。文科省の方からは、現在、国が目指している「思考力・判断力・表現力」「学びに向かう力」をタブレット等を活用してどうしたら伸ばしていけるかといった質問がありました。これについては本校が研究を進めている「対話を通して協働的に学び続ける力」の取り組みをお話しています。授業参観でも6年生が子どもたちが地域のことを調べてプレゼンをしましたが、国語の学習をベースに、自分で課題を見つけて協働的に解決する力をつけさせるように教科を横断して課題を工夫しているところです。下の文は経済産業省が示している未来人材ビジョンの一部です。求められる人材は時代と共に変化しています。

### 新たな未来を牽引する人材

それは、好きなことにのめり込んで豊かな発想や専門性を身に付け、多様な他者と協働しながら、新たな価値やビジョンを創造し、社会課題や生活課題に「新しい解」を生み出せる人材である。〈未来人材ビジョンより〉

### 次の社会を形づくる若い世代に対しては、

「常識や前提にとらわれず、ゼロからイチを生み出す能力」「夢中を手放さず一つのことを掘り下げていく姿勢」「グローバルな社会課題を解決する意欲」「多様性を受容し他者と協働する能力」といった、根源的な意識・行動面に至る能力が求められる。